【ねがいましては】

平成２２年９月２４日　　*KYOWA SCHOOL*
第２３９号

「豊かさって」

車を運転中にラジオからふっと飛び込んできたお話。俳優の榎木孝明さんがご出演なさっていました。

とても旅好きな方らしく、お一人で長期間、しかも軽装での旅。アジア方面が主だとのこと。その中のひとコマに唸らされてしまいました。

アジアの奥地、チベットなどの放牧生活をなさっている方々のところへ旅をなさったそうです。生活に必要なライフライン、電気・ガス・水道、そして通信。そのような文明社会が必要としているものからは程遠い生活をおくっている方々に向かって、ある質問をなさったそうです。

「このような生活をなさりながら、豊かさってどのようにお考えでいらっしゃいますか。」「・・・・・・。」

その方は、しばらく答えに窮していたそうです。そして榎木さんははっとさせられたそうです。ここに生活なさっていらっしゃる方々は、皆さんすべてが豊かさの中にいらっしゃる。だから「豊かさとは」と質問されても豊かさがわからない。

つまり、豊かさはと質問することそのものが、豊かさでなく貧しさを知っているからこそ質問できることなのだ。

貧しさを知ってこそ、豊かさを考えるようになる。ここに暮らしていらっしゃる方々は、生まれながらにして豊かさの中で生まれ、豊かさの中で育ち、豊かさの中で今、生活されている。だから毎日の生活のことを聞かれても、それが当たり前になっており、豊かさの意味がわからない。

なんとしあわせな方々なのか。榎木さんはあらためてご自身のなさった質問が愚問だったことにはっとさせられたそうです。本当の豊かさを知らないのはむしろ私なのだ・・・。

私たちの日々の生活の中で「豊かさ」を考えるとき、つい感じてしまうのが物的なものや地位など、他との比較から生まれ出てくる結果から感じる豊かさを当たり前のものにしてしまいがちだということが、強いコントラストを伴って突き刺さってきました。

新築一戸建ての家に住みたい、外車を購入したい、会社では部長級以上の役職につきたい。年収１０００万以上を得たい、別荘を持ちたい、旅行は毎回海外へ行きたい。それが豊かさを感じることなのだ。そう思っている方々にぜひ聞いていただきたい内容でした。

子どもたちにとって、その豊かさにつながる基盤があります。成績です。学校ではいつも良い成績をとって良い高校へ行き、良い大学へ行き、良い会社へ行き、良い生活をおくる。つまり良い成績を収めれば豊かさを手に入れられる。そのように思っていらっしゃる保護者の方は多いと感じます。

良い成績を取ることは、豊かさを手に入れることなのだ・・・。

そのために、日々子どもたちは「勉強しなさい。」と言われ続け、ますます勉強嫌いになり、親と子の関係は日々粗悪になり、家族たちは生活の中で幸せを感じなくなる。一番近い、血の繋がった人同士の中から信頼は消え失せ、「ひと」ではなくなってゆく・・・。

この悪循環を繰り返しているのが、ひょっとしたら私たちの暮らす今のこの社会なのかもしれません。

キャンプで過ごす４泊５日、情報から完全に隔離された生活、毎日世の中では何が起こっているのか全くわからない生活。しかしふと感じたことがあるのですが、妙にしあわせな気持ちでいられるのです。

寝て起きて、美味しいご飯が食べられ、楽しく遊び楽しく会話する。ただそれだけの単調な時間の流れは、我々に何か忘れていたものを感じさせているのかもしれません。子どもたちも感じているようです。

生きるってどういうことなの・・・時折教室で出てくる言葉です。まさに豊かさってどういうものなの。

子どもたちに感情はあっても、それを上手に言葉に表現し伝える能力は、まだまだ乏しいのが当たり前。彼らが一番伝えたいことは、「なぜ勉強しなければならないの。なぜ良い成績を取らなければならないの。」単純明快な疑問を抱えています。大人たちはこたえます。「将来、豊かさを手に入れるためなのだよ。」子どもたちは反論できません。でももやもやが残っています。彼らには主張したいことがあります。

「ぼくたち、私たちは、今、豊かさを感じていたい。なぜ、こんなに家族がバラバラにならなければならないの・・・・・。」

私は感じます。子どもたちはチベットで暮らす方々が感じていらっしゃる豊かさを望んでいる。物を手に入れてもけっして埋まらないものです。今の子どもたちに必要なもの・・・心の豊かさ。

勉強は他人との比較に使われるものではないのだよ。勉強は、本当は、本物の豊かさを知るためのものなのだよ。

他人との比較から別れて、結果を気にせずに楽しんでみよう。そしてとなりに困っている人がいたら、そっと助けてあげようね。しっかりこころを覗いてあげることだね。だってね、勉強に困っている子たちは、皆、こころに傷を負っているからね。

お医者さんへ行って、まず君が望むもの・・・看護師さんの笑顔でしょ！